

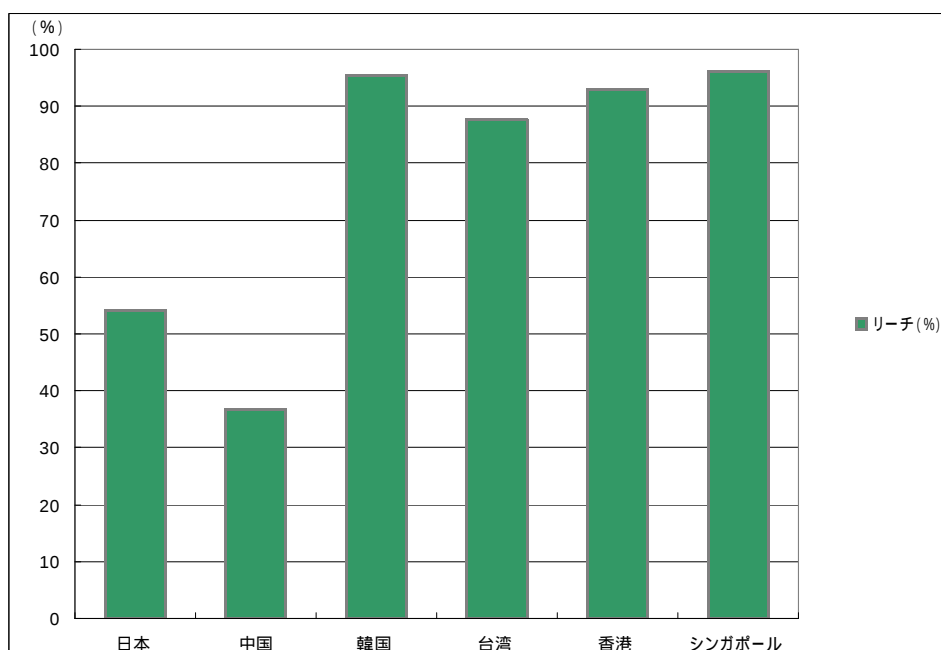
アジアのソーシャルネットワーキングサイト利用動向調査 (2011 年 5 月) ～ 日本、韓国で 2 倍の成長を見せる Facebook ～

アジア圏を中心に、東京、沖縄、シンガポール、韓国、台湾、香港、タイの 7 拠点で展開し、戦略的なグローバルマーケティングを提供しているアウンコンサルティング株式会社（東証マザーズ：2459、本社：東京都文京区、代表取締役：信太明）は、このたび、世界 43 カ国・5 つの地域を対象にインターネット視聴率データを提供しているコムスコア・ジャパン株式会社の正規販売代理店としてアジアのソーシャルネットワーキングサイト利用動向に関する調査をまとめました。

調査結果

2011 年 1 月に映画「ソーシャル・ネットワーク」が公開されたことにより、世界的なソーシャルネットワーキングサイト（以下、SNS）である Facebook（Facebook.com）に注目が集り、日本の SNS 業界でも賑わいを見せました。しかし、2011 年 3 月時点で日本における SNS の利用は、全インターネット人口の約半数であり、アジア主要地域と比較すると中国に次いで 2 番目に低い結果となりました。一方で 2011 年 3 月時点での、韓国、香港、シンガポールでは全インターネット人口の 90%以上が SNS を利用しています。（図表 1）

図表 1：アジア主要国 SNS リーチ（普及率）



出典：コムスコア / メディアメトリックス (Media Metrix) 2011年3月

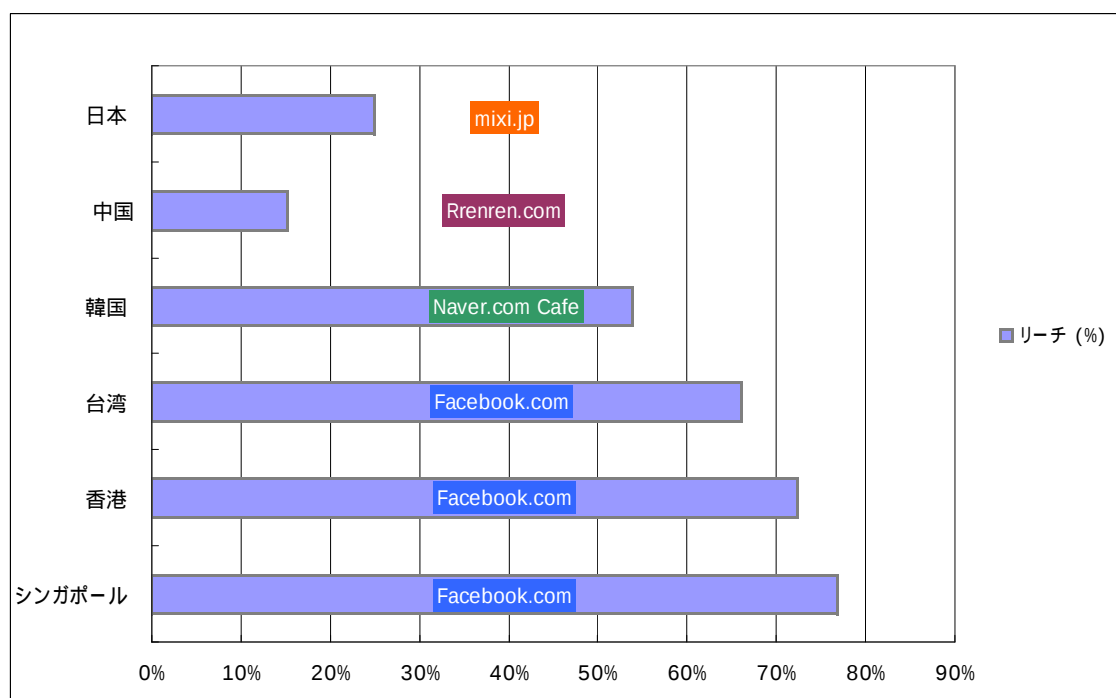
*インターネット カフェなどの公共のコンピュータ、および携帯電話・PDA からのアクセスを除く。

各主要 6 地域それぞれで最も普及率が高い SNS を比較すると、台湾、香港、シンガポールでは Facebook が最も幅広く利用されています。特にシンガポールでは Facebook 単体で全インターネット人口の約 75% にアプローチしており、インターネットユーザーのコミュニケーションのインフラとして確固たる地位を築い

News Release

ていることが伺えます。台湾では Yahoo! が保有するローカル SNS の無名小站(Yahoo! 奇摩)が最も普及していましたが、昨年度末に Facebook が無名小站の来訪ユーザー数を抜き、首位に躍り出ました。一方で日本、中国、韓国の3カ国では各国ローカルの SNS が Facebook を抑えて首位をとっています。日本では mixi (株式会社ミクシィ)、韓国では大手検索エンジンの NHN Corporation が運営する Naver がそれぞれ Facebook を抑えてトップにたっています。また、中国では Facebook へのアクセスが禁止されており、Renren (北京千橡网景科技发展有限公司) をはじめとするローカル SNS が SNS 業界を独占しています。(図表2)

図表2：アジア主要国 最大手 SNS リーチ（普及率）

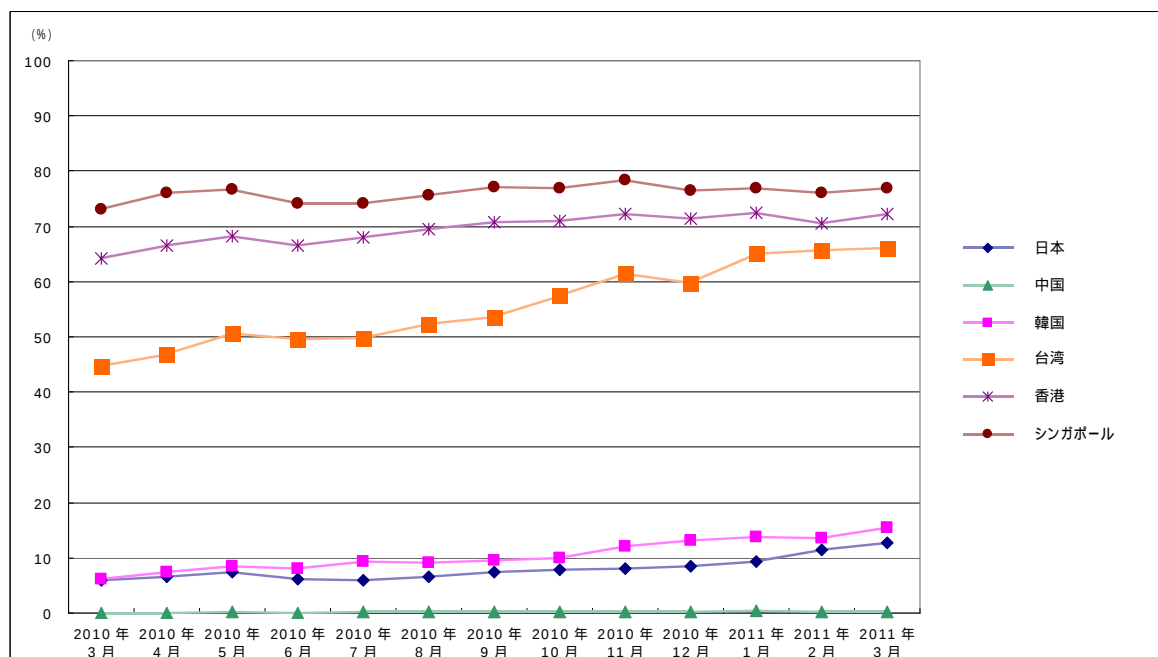


出典：コムスコア / メディアメトリックス (Media Metrix) 2011年3月

*インターネット カフェなどの公共のコンピュータ、および携帯電話・PDA からのアクセスを除く。

Facebook がユーザー数を増やしているのは台湾に限ったことではなく、同サイトへのアクセスが禁止されている中国を除いて、その他各地域でも昨年から着実に利用者を増やしており、またローカル SNS がトップにある日本と韓国では普及率を2倍以上伸ばしています。(図表3)

図表3：アジア 主要国 Facebook リーチ（普及率）推移



出典：コムスコア /メディアメトリックス (Media Metrix) 2011年3月

*インターネット カフェなどの公共のコンピュータ、および携帯電話・PDA からのアクセスを除く。

このようにアジアにおいて Facebook の存在感が増している中、各国のローカル SNS も Facebook に対抗する策をとっています。昨年の9月には mixi が、中国最大手の Renren、韓国の NAVER と並んで利用者が多い Cyworld (SK Communications) それぞれと提携し、今後各 SNS 間でプラットフォームの共通化を進めていくことを発表しました。また、mixi は今年の1月にもドイツの大手 SNS サイトの Vznet (VZnet Netzwerke) と同様の提携を結んでおり、Facebook に対する各ローカル SNS の連合が形成されつつあります。一方で、Facebook は今年の4月に同サイトへのアクセスが禁止されている中国への進出に向けて百度 (Baidu) と共同で新たな SNS サイトを立ち上げるとのニュースが流れるなど、今後さらにアジア地域の攻略に力を入れていくことが想定されます。世界43カ国・5つの地域のインターネット視聴率データを計測しているコムスコア社では、国別で業界トレンドの計測が可能となり、今後競争が激しくなるアジア SNS の動向を追う上でグローバルなデータを計測することが重要となります。

調査主旨及び要綱

【調査主旨】

アジアの SNS サイト利用動向を調査

【調査要綱】

- ・ データソース：コムスコア社が提供するネット視聴率データ、メディアメトリックス（アジアデータ）
- ・ 調査方法：コムスコア社が保有する調査対象パネルのインターネット使用データを基とした統計予測
- ・ 調査期間：2011 年 3 月度集計

< 検索サービス定義 >

本調査における SNS とは、ソーシャルネットワーキングサイト、ソーシャルブックマークサイトなどのサイト群より構成されています。

アウンコンサルティング株式会社

〔事業内容〕 アジア圏を中心としたグローバルマーケティング支援(多言語の Web 制作・メディア運営・販促支援・翻訳)

〔設立年月日〕 1998 年 6 月 8 日 〔本社所在地〕 東京都文京区後楽 1-1-7 グラスシティ後楽 2F

〔代表者〕 代表取締役 信太明 〔資本金〕 339,576 千円 〔会社 URL〕 <http://www.auncon.co.jp>

〔プレスリリースに関するお問合せ〕 広報担当 宮本 / TEL:03-5803-2459 MAIL: pr@ auncon.co.jp

〔調査に関するお問合せ〕 担当 古川 / TEL:03-5803-2777 MAIL: research@ auncon.co.jp